

教育観点による児童生徒の実態把握ツール『教育実践マトリクス』の開発と運用 ～2年間の成果と課題～

大阪府立西浦支援学校

主題設定の理由

大阪府立西浦支援学校（以下本校）では、全学部全学年全ての教育活動を支える基盤として独自の指標『教育実践マトリクス』を活用している。この指標は児童生徒の実態把握および学習のねらいの設定、年度の学習活動の評価、次年度への引き継ぎ資料、課題別グループ決定の参考資料として活用している。入学から卒業まで一貫した指標で情報を引き継ぎ共有しながら学習活動を行うことを目的としている。開校以来3年間継続活用しその成果を積み上げてきた。その中で、各種アンケートやデータの分析から改訂を行ってきた。本報告ではそれらをまとめる。『教育実践マトリクス』は現状、本校において使用しているが、その意義を考えればより多くの現場で活用されることが望ましいと考える。どこにいても同じ指標で子どもたちの成長を支援することが可能になればと考えている。『教育実践マトリクス』という共通の基盤を持ちながら、各地域、各校、各教員の創意工夫をもって教育活動が展開されることを願っている。その為には、広く公開し意見を求めより精度の高い指標を作っていくことが重要になる。本報告では、本校の取り組みの概要とその成果と課題をまとめ、今後の活用の広がりの一助とすることを目的としている。

実践の概要

『教育実践マトリクス』とは

本校は、平成27年1月1日に設置され、同4月に開校した。その開校に際し、多様な生育歴、学習環境で育ってきた多くの新入児童、生徒を受け入れるにあたり、教員が児童生徒の実態を把握するための共通の指標が必要であった。そこで考え出されたのが『教育実践マトリクス』である。『教育実践マトリクス』は主に次の2点を目的に開発された本校独自のツールである。目的の第1は、児童生徒の実態把握及び、それを基にした児童生徒一人一人に応じた適切な課題の設定を行うことである。目的の第2は、教員・保護者・福祉機関などの児童生徒の関係者間における「児童生徒像」の共通認識をよりスムーズに形成することである。

『教育実践マトリクス』の作成には、本校開校前に設置された「西浦支援学校開校準備室」およびその前身の「中河内・南河内新校ワーキンググループ（以後WGと表記）」に配属された教員が当たった。作成に当たっては、WG所属の各教員自身および、各自の所属支援学校でのこれまでの教育実践や児童生徒指導の経験を基に知的障がい支援学校における小中高12年間に行われる指導の内容を収集した。そして収集した内容を学習指導要領と独立行政法人特別支援教育総合研究所による「キャリアプランニングマトリクス（試案）」と対照しながら本校の教育目標にも合致するよう分類、整理し配列を行った。WG内で幾度かの改訂を経て、つけてほしい力を16の項目（『教育実践マトリクス』横軸）に分類し、その各項目内で扱われるべき具体的な内容を12のまとまり（『教育実践マトリクス』縦軸）に分け、おおむね段階的になるよう配置した。このような経緯で出来上がったものが『教育実践マトリクス』である。

『教育実践マトリクス』の使用方法について

『教育実践マトリクス』の使用手順は次の通りである。まず、入学または進級により担任する児童生徒が決まった段階で、『教育実践マトリクス』のつけてほしい力16の項目に沿って日々の指導の中で行動観察を行う。この時、在校生については前年度の『教育実践マトリクス』の結果を確認したうえで比較しながら行動観察を行うことになる。十分に行動観察を行った後、担任間で本年度の児童生徒の実態に応じた項目がどこにあたるのかを話し合って決定する。この、話し合いこそが『教育実践マトリクス』の肝となる部分である。担任教員はそれぞれ経験年数も得意分野も違う。その教員が同

じ観点で見立てを行い、共通認識を形成していく。実態に応じた項目が決まった後、その年度につけてほしい力の到達目標を 16 項目それぞれについて決定する。ここでも十分な話し合いが肝要となる。「実態」および「ねらい」が決定すれば、それを基に個別の教育支援計画や各教科の個別の指導計画を立てていくことになる。当然個別の教育支援計画作成にあたっては保護者との話し合いを持ち本人及び保護者のニーズの聞き取りを行うことになる。ここでも必要に応じて『教育実践マトリクス』を用いて担任と保護者が話し合い、個別の教育支援計画を作成していく。そうして作成された『教育実践マトリクス』、「個別の教育支援計画」、「個別の指導計画」を基に日々の指導が行われていく。指導に際しては各学部、各学年、各教科の実態に応じて課題別のグループ学習を行っている。その学習グループについても『教育実践マトリクス』に付随するグループ判定ツールの結果が参考にされる。このグループ判定ツールは各教科に必要な力を 16 項目から 2 つずつ抽出しその数値を基に各学部各学年に応じた課題別グループの適正を判定するものである。ただし、この結果のみで決定するのではなく、その他の環境要因と総合して合議の上で判定を行う。そして、日々の実践を終え再度担任団で学年末時点での児童生徒の実態を再度『教育実践マトリクス』に記入し、次年度への引き継ぎ資料とする。このように行動観察・聞き取り（R）、個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成（P）、日々の指導（D）、学年末の評価（C）、次年度への引き継ぎ（A）の R - PDCA サイクルに基づいた運用を行っているのである。

平成 27 年度 大阪府立西浦支援学校における運用実態

平成 27 年度、開校と同時に全教職員に『教育実践マトリクス』を配布。それを基に児童生徒の行動観察を行い、4 月末に担任間で合議の上、各児童・生徒について実態と課題を『教育実践マトリクス』上に記入。その後 5 月の家庭訪問時には『教育実践マトリクス』を基に、保護者に本年度、児童生徒が取り組むべき課題を提案、合議ののち修正を経て、正式に実態と課題を決定した。また、これに合わせて『教育実践マトリクス』を参考にした授業グループ（本校では各教科で課題別のグループ学習を行っている）の人員構成を行った。年度途中においても、生徒の実態の変化や周囲の状況を鑑み、学習グループの変更が必要となった場合には『教育実践マトリクス』を確認のうえ、グループの再編成も行った。

また、実際の使用を経て後述の各アンケート、データ収集、分析を行い、問題点の洗い出しと解決に向けた改訂を平成 27 年度末に実施した。アンケートの結果から各学部の低学年重度生徒において各領域の①以前を実態とする児童生徒が一定数在籍していることが明らかになった（資料③ - 1）。16 領域全てに①段階以前の目標項目を追加した。それに伴い、各領域の使用実績（資料③ - 1）をふまえ、ねらいとした児童生徒の少ない項目を統合し各領域が 12 段階になるように改訂した（資料⑤）。

平成 28 年度大阪府立西浦支援学校における運用実態

平成 28 年度の運用方針、スケジュールは前年度と同様であった。在校生については、実態把握の前段で昨年度のデータを参考にした。平成 28 年度の運用上の課題は、前年度行った改定の効果进行评估することと、より効果的な運用スケジュールの提案であった。

結果の詳細は後述するが、改訂により児童生徒が狙いとする項目の偏りが解消されることとなった。そしてより効果的な運用については、年度末の評価だけでなく年度途中（夏季休業期間～2 学期頃）に「見直し期間」を設けて各児童生徒の成長を評価し、必要に応じてねらいを設定し直すことが望ましいという結論に至った。

各調査からみる運用状況の推移

平成 27 年度、28 年度共に全校研究として以下の調査を行った。

調査①「マトリクスに関するアンケート」: マトリクスを用いた児童生徒の実態把握および課題の設

定、グループ編成など実際に活用を行った教職員による「マトリクス」の使用に関する意識調査アンケート。**調査②マトリクス運用実態**：マトリクスで算出された課題別学習の参考グループと実際のグループ所属の一致不一致を調べる調査。**調査③マトリクス集計**：本校在籍の児童生徒の『教育実践マトリクス』による課題設定において、どの分野のどのセルが用いられているか、それぞれのセルを課題とする児童生徒の人数を把握し、どの児童生徒の課題ともならないセルの存在の有無を確認するための調査。以上3つの調査の比較と推移から以下で分析を行う。

調査①では教員の『教育実践マトリクス』に関する意識が明らかになった。(資料②) 初年度に比べて使用することに対する不安感は減少し、良かったと感じている教員は微増している一方で、「話し合いに役立てる」ことができたという回答は減少している。この結果を受けて、使用頻度の改訂が必要であると考え H.28 の年度末に運用スケジュールの改訂を提案した。使用頻度を上げることで不安感を解消し、「話し合い」の時間を多くとってもらふことが必要であると考えたからである。

調査②では授業判定ツールとしての整合性を検証した。(資料④) 学習グループ決定には使用可能な教室数や一つの教室で学べる児童生徒数や児童生徒の関係性、障がい特性等多くの条件が組み合わされる。その為、『教育実践マトリクス』のみでの判定は難しい。概ね一致率は 60～80%で推移しているが、特に児童数は少ないが展開数が多く学年団の実態の違いが大きく影響する小学部では一致率が下がる傾向にある。あくまで参考値として取り扱われるべきであろう。ただし、設定された「ねらい」を基に授業を組み立てていくことは有効であり、「ねらい」に応じた授業の年間計画や単元、授業計画に活用されることが望ましい。今後はそのような観点で『教育実践マトリクス』の授業決定ツールを見ていくと共に、教材共有などの拡張機能を付加していくべきである。

調査③では2年間で延べ497名の児童生徒に対し『教育実践マトリクス』を使用し、目標設定段階において使用されなかったセルは一つもなかった。(資料③-1、2) これは、『教育実践マトリクス』が知的障がい支援学校においてその教育活動で扱うべき内容を網羅し、一定児童生徒の実態把握およびねらいの決定ツールとして機能しうることを示していると考ええる。また、H.27 のアンケートからより児童生徒の実態に応じたツールとするため従来の①以前の課題を設定するべきであるという結論に達した。それを受けて①以前の段階を各領域に設定し伴って目標とした児童生徒の少なかったセルを複数整理統合した。(資料⑤) その結果として、児童生徒の目標としたセルの①への偏りは解消されていると言える。

おわりに

ここまで見てきたように、教育的観点に基づく本校独自の実態把握および目標設定ツール『教育実践マトリクス』は、知的障がいのある児童生徒の学習活動における実態把握および目標の設定については一定の効果が認められた。この指標を継続使用することで小学部から高等部まで教員および保護者が共通理解を形成し一貫した指導が行えるものと考ええる。一方で課題として、使用手順の複雑さから使用者の「慣れ」が必要であることも明らかになった。また、今回は一支援学校での使用実績にとどまるため地域特性の影響は排除できない。そして、より使いやすく教育活動において使用場面の多いツールとしていくことも課題である。本年度、本校では H.28 の研究成果を基に運用スケジュールの見直しを行った。使用回数を増やすことで使用者の「慣れ」を生み出すものと期待している。さらに、学習指導要領改訂を控え、本校では WG を立ち上げ、新学習指導要領とマトリクス各セルの関連性を再確認している。そして、WG ではより使用しやすいツールとなるようなチェックリスト方式への転換の準備も始めている。さらに、『教育実践マトリクス』と指導案や教材を教員相互が閲覧できる共有システムの構築も準備している。今後は、個別の教育支援計画や個別の指導計画との連携を高め、指導の手立てにつなげていく方針である。そして、広く地域の各学校園に知ってもらい使用実績を積み重ねていきたい。将来的には府内、そして全国的に広がっていくことを目標としている。本報告がその端緒となることを願っている。

[illegible]

資料② 教育実践マトリクスに関する調査

質問項目 回答	4 と思う		3 少し思う		2 あまり思わない		1 思わない	
	H.27	H.28	H.27	H.28	H.27	H.28	H.27	H.28
① 生徒の実態把握の話し合いに役立てることができた	40人 31%	29人 19%	58人 45%	54人 35%	26人 20%	50人 32%	4人 3%	21人 14%
② 良かったと感じた点がある	20人 16%	24人 16%	64人 50%	78人 53%	29人 22%	37人 25%	5人 4%	8人 5%
③ 分かりにくかった点がある	30人 23%	33人 23%	66人 51%	71人 49%	24人 19%	29人 20%	3人 2%	13人 9%
④ 不安な点がある	18人 14%	30人 21%	63人 49%	56人 40%	26人 20%	34人 24%	9人 7%	21人 15%

*「無回答」があったため各質問の％の合計が 100 未満になっている。
赤が前年度より増加、青が前年度より減少を示している。

資料③-1 H.27 マトリクス分布表

[illegible]

資料③ - 2 H.28 マトリクス分布表

[illegible]

資料④ マトリクス運用実態（学習グループ一致率）＊単位は（人）

	平成 27 年度								平成 28 年度							
グループ	I G	II G	III G	IV G	V G	VI G	VII G	VIII G	I G	II G	III G	IV G	V G	VIG	VII G	VIII G
小学部 (合計)	12	14	14	10	8	8	10	6	8	8	8	8	12	10	14	12
(一致)	6	10	11	2	2	0	6	0	0	6	6	1	0	4	2	0
(不一致)	6	4	3	8	6	8	4	6	8	2	2	7	12	6	12	16
一致率	50%	71%	79%	20%	25%	0%	60%	0%	0%	75%	75%	13%	0%	40%	14%	0%
中学部 (合計)	172	225	63	80					143	219	72	101				
(一致)	131	149	40	62					83	132	58	74				
(不一致)	41	76	23	18					60	81	14	27				
一致率	76%	66%	63%	78%					58%	60%	81%	73%				
高等部 (合計)	219	326	266	155					210	359	364	293				
(一致)	206	298	187	101					173	309	308	241				
(不一致)	13	28	79	54					37	50	56	52				
一致率	94%	91%	70%	65%					82%	86%	85%	82%				

資料⑤ マトリクス改訂

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80																				

*緑のセルは新たに追加したセル、ピンクのセルは改定に伴い文言を追加したセル、茶色のセルは統合整理したセルである。